

(様式 1)

県政調査計画書

令和7年2月4日

神奈川県議会議長殿

会派名 かながわ未来神奈川県議会議員団

団長名 京島 けいこ

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) <u>京島 けいこ</u> (団 員) <u>近藤 大輔</u> <u>作山 ゆうすけ</u> <u>岸部 都</u> <u>石川 裕憲</u> <u>脇 礼子</u> <u>佐藤 けいすけ</u> <u>永井 真人</u> <u>小田 貴久</u>
2 調査目的	バイオマス発電事業の取組、地域の特性に合った在り方を確立して商店街を再生した取組、水産・畜産・農業人材育成の取組、地域定住支援の取組など、特徴ある循環型社会形成施策、地域振興施策、人材育成施策、定住支援施策等を調査することにより、本県における今後の施策調査の参考にする。
3 調査期間	令和7年3月26日 ～ 令和7年3月28日
4 調査地	宮崎県、鹿児島県
5 調査項目	(1) みやざきバイオマスリサイクル株式会社 日本初の鶏糞発電事業として国内最大規模の発電所を運営している。鶏糞を燃料として発電し、焼却灰は肥料として利用することで、土壌の改善にも貢献しており、環境負荷の低減と養鶏産業における資源循環の一翼を担っている。 こうした取組を調査することにより、循環型社会形成の参考とする。 (2) 油津商店街 空き店舗や空き地が増加し、シャッター街となっ



ていた油津商店街は、平成25年にテナントミックスサポートマネージャーを公募し、住民参加のきっかけを作るなど土台を固めた上で、その土地に合った新しい商店街の在り方を目指し取り組んだ結果、商店街には多くのIT企業を含めて4年間で29店舗が進出し、地方創生の成功事例となった。

こうした商店街の取組を調査することにより、地域振興施策の参考とする。

(3) 宮崎県立高等水産研修所

これからの水産業を担う、幅広い視野と高度な技術・知識を備えた、中核的漁業者の養成に取り組む全国でも数少ない専門機関。

水産業を取り巻く諸情勢の変化の中で、時代の要請に対応できる高度な知識と技術を備えた漁業就業者の養成を行い、水産業の更なる振興、発展に寄与し得る人材を育成している。

こうした水産業人材育成の取組を調査することにより、本県での専門教育施策の参考とする。

(4) 南九州畜産獣医学拠点（SKLV）

曾於市と鹿児島大学共同獣医学部が連携して、旧鹿児島県立財部高校跡地を整備し、将来の畜産業・獣医療を担う人材の育成に取り組む施設であり、新たな産業の創造・交流人口の増加を目指している。

産業モデル飼育エリアでは出荷までの全ての工程での実習ができ、地方創生エリアでは宿泊施設や福祉施設を備え、学生と畜産関係者の交流を促している。また、馬エリアは獣医学生の実習のほか、ホースセラピーなど多様な取組を行っている。

こうした取組を調査することにより、畜産人材育成施策及び地域活性化支援施策の参考とする。

(5) たからべ森の学校

閉校した曾於市立財部北中学校を活用して整備した職業訓練施設。農業・調理の人材育成、農業体験・田舎暮らし体験、非日常を体験できるイベント企画・運営、女性の起業・創業を支援する取組などを運営してきた。平成30年には学校体験型宿泊施設としてリニューアルオープンし、合宿誘致、移住体験等、職業訓練以外の分野の催しも実施している。

こうした取組を調査することにより、地域活性化支援施策及び移住・定住施策の参考とする。

6 経費の概算額	1人当たりの議員旅費 …	196,245 円
	内訳 交 通 費 …	152,690 円
	宿 泊 費 …	33,000 円
	視察研修費 …	10,195 円
	雑 費 …	360 円

* 日程表を添付する。

(様式2)

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	3月26日 (水)	宮崎県 川南町	午前 午後	航空機 借上バス	移動(羽田空港 → 宮崎空港) ■ みやざきバイオマスリサイクル(株) ・再生可能エネルギーの取組について 移動(宮崎県川南町 → 宮崎市) ＜宮崎市内宿泊＞
2	3月27日 (木)	宮崎県 日南市 宮崎県 日南市	午前 午後	借上バス 借上バス	■ 油津商店街 ・地域振興の取組について ■ 宮崎県立高等水産研修所 ・水産業人材育成の取組について 移動(宮崎県日南市 → 鹿児島県霧島市) ＜霧島市内宿泊＞
3	3月28日 (金)	鹿児島県 曾於市 鹿児島県 曾於市	午前 午後	借上バス 借上バス 航空機	■ 南九州畜産獣医学拠点 ・畜産業の振興及び地域活性化支援の取組について ■ たからべ森の学校 ・地域活性化支援及び移住・定住施策の取組について 移動(鹿児島空港 → 羽田空港)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長)	京島	けいこ	
	(団 員)	近藤	大輔	作山 ゆうすけ
		岸部	都	石川 裕憲
		脇	礼子	佐藤 けいすけ
		永井	真人	小田 貴久

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 196,245 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	2 泊 3 日の行程の中で、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は午前 および午後それぞれ 1 箇所以上 調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	(1) みやざきバイオマスリサイクル株式会社 みやざきバイオマスリサイクル株式会社は鶏糞による発電事業を行っており、温室効果ガスの削減に貢献している。本県では「神奈川県循環型社会づくり計画」により循環型社会を目指している。また、電力の分野でもかながわ再エネ電力利用応援プロジェクトにより積極的に支援しているところである。同社の取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。 (2) 油津商店街 油津商店街は、サポートマネージャーの尽力の下、住民参加を促して再生に取り組んだ結果、IT企業が進出するなど新しい賑わいを得た。県では、商店街に対して商店街等活性化促進事業費補助金等により商店街の活性化を図っているが、地方創生の先進事例として紹介された同商店街の取組を調査することは、県政課題の一助になるものと認められる。 (3) 宮崎県立高等水産研修所 宮崎県立高等水産研修所は、中核的漁業者の養成に取り組む全国でも数少ない専門機関である。本県は、26の漁港を持ち、沿岸の魚から深海魚、遠洋のマグロまで実に様々な水産物が水揚げされているが、漁業就業者は一貫して減り続けている。同研修所の取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (4) 南九州畜産獣医学拠点（SKLV） 南九州畜産獣医学拠点（SKLV）では、旧鹿児島県立財部高校跡地を利用して、曾於市と鹿児島大学共同獣医学部が連携して将来の畜産業・獣医療を担う人材の育成や、新たな産業の創造・交流人口の増加を目指している。全ての行程を一貫して学べる畜産実習や、ホースセラピーなど多様な取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。 (5) たからべ森の学校 たからべ森の学校では、閉校した曾於市立財部北中学校を活用して職業訓練のほか、女性の起業支援や合宿誘致、移住体験等広範な取組を行っている。こうした、地域の特性を生かした取組を調査することは、県政課題の解決の一助になるものと認められる。
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	各分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容者その成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。